

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	博物館特別展事業		
事業担当	社会教育部 博物館		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	感性 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'02	2 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 館事業参加市民】		
目的・目標		事業の概要	
学芸員の研究成果が、市民の知的共有財産となっています。		学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名	特別展開催日数			単位	日
	説明・算定式	夏期・秋期・春期特別展、企画展、博物館文化祭の開催日数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	150	160	165	170	
	実績	154	153	163		
活動指標	指標名	特別展開連事業開催日数			単位	日
	説明・算定式	期間中の講演会・見学会等				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	20	25	27	30	
	実績	27	32	53		
成果指標	指標名	特別展開催期間中の入館者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	38000	38600	38700	38800	
	実績	43062	35555	34642		
成果指標	指標名	図録売上部数			単位	部
	説明・算定式	開催期間中の当該特別展図録売上部数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	550	630	650	660	
	実績	813	346	626		
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
3回の特別展それぞれに平塚市博物館ならではの特色あるテーマを用い、市広報担当と連携してPRを強化しました。市民とともにやってきた市域の全石仏調査の成果を大きく公表して、平塚市博物館の活動姿勢を示しました。入場者数は伸び悩んだものの、来場した方からは高い関心を得て、展示図録の売上が大きく回復しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	市民が人生の「豊かさ」を実感できる知的欲求に応える事業です。展示で実物に接するインパクトに加え、図録購入によって反復学習が可能です。新しい知的地域資源を拓く開発的事业であり、市の関与が必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	特別展は市民の知的要求に、実調査に基づいた高い水準で応えています。また刊行図録は限られた展示スペースを補うとともに、会期後も、展示を見逃してしまった市民へのサポートになっています。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	教育普及活動で学び、スキルを得た市民が調査活動に寄与して、それが展示内容に結実しています。受益者が、学びを楽しみつつ数年後には供益者となるしくみです。展示図録として知的成果が市に蓄積されます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	外注部分を館内製作に切り替える等制作プロセスを見直し、制作経費の軽減に努めました。調査から制作まで、プロセス全般に市民が学芸員とともに参加しており、効率化が有効に行われています。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 入場者が伸び悩んだ夏期の事業の方向性(目的・対象等)に検証・検討の余地があります。美術館、図書館との連携で、昨夏よりも凝ったスタンプラリーを行ないましたが、二度目となり広報面で訴求力を欠きました。今後は連携の質的变化が求められます。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		民俗部門等の特別展の開催	考古部門等の特別展の開催	天文部門等の特別展の開催	歴史部門等の特別展の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	1,762	1,482	1,623	1,543
	一般財源	4,204	4,236	4,489	4,546
事業費 (A)		5,966	5,718	6,112	6,089
執行率 (%)		95.87	91.93	98.84	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b> 展示により興味を喚起された市民が、行事に参加してノウハウを獲得し、新しい知識を生み出す側に回る、博物館を舞台とした循環型の生涯学習活動の起点とします。また、終了した展示図録についても利用促進を図ります。
<b>課長コメント</b> 文化施設が集合し、緑に囲まれ落ち着いた空間は、周辺他市町にない環境です。美術館、図書館との連携で文化ゾーンの魅力を磨き、「平塚市の魅力」として示して行きたいと考えます。